

# U/C 移行ツール 利用マニュアル

株式会社 広告EDIセンター

## 注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いいたします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

PostgreSQLは、PostgreSQLの商標または登録商標です。  
その他、各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2013/9/19	新規作成
2	2014/10/30	U/C 10.1.0のリリースに対応し一部変更
3	2016/2/26	3.2. 移行対象外の祝日項目に説明を追加
4	2017/10/1	一部文言を修正

<b>1.</b>	<b>本書の概要</b>	<b>5</b>
<b>2.</b>	<b>U/C移行ツールの概要</b>	<b>6</b>
2.1.	現行U/Cからデータを取得する流れ	6
2.2.	新U/Cへデータを登録する流れ	7
<b>3.</b>	<b>移行対象と対象外</b>	<b>8</b>
3.1.	移行対象	8
3.2.	移行対象外	8
<b>4.</b>	<b>前提条件</b>	<b>9</b>
4.1.	移行データ抽出ツール	9
4.2.	移行データ登録ツール	9
<b>5.</b>	<b>操作説明</b>	<b>10</b>
5.1.	移行データ抽出ツール	10
5.1.1.	ツールの準備	10
5.1.2.	起動方法	10
5.1.3.	操作方法	11
5.2.	移行データ登録ツール	14
5.2.1.	ツールの準備	14
5.2.2.	起動方法	14
5.2.3.	操作内容	15
<b>6.</b>	<b>補足事項</b>	<b>17</b>
6.1.	ツール実行後の確認事項	17
6.2.	スケジュールの起動	20
6.2.1.	システムスケジュール	20
6.2.2.	ユーザスケジュール	21
6.3.	ユーザフォルダについて	23

# 1.本書の概要

---

当マニュアルではU/C移行ツールの説明、及び使用手順を記述します。

新U/Cへ使用する際に、現行U/Cのデータを引き継ぐためには、U/C移行ツールでデータを移行する必要があります。

## 2.U/C移行ツールの概要

U/C移行ツールは、現行U/Cのユーザや、スケジュール等の登録情報を新U/Cに引き継がせるためのツールです。

U/C移行ツールを使用することにより、現行U/Cで使用されていた一部の情報を新U/Cに移動させて、再度登録する手間を省きます。ツールは「移行データ抽出ツール」と「移行データ登録ツール」の2種類があります。「移行データ抽出ツール」が現行U/Cからデータを抽出し、そのデータを「移行データ登録ツール」が新U/Cに登録を行います。

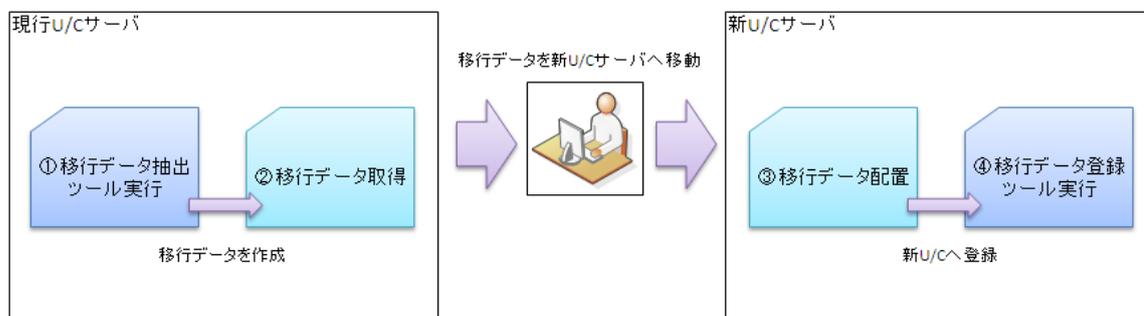


図 2-1 移行作業 全体イメージ図

### 2.1.現行U/Cからデータを取得する流れ

「移行データ抽出ツール」は現行U/Cから登録情報を取得します。

取得した現行U/Cのデータは、ツール起動時に指定されたフォルダへ保存します。

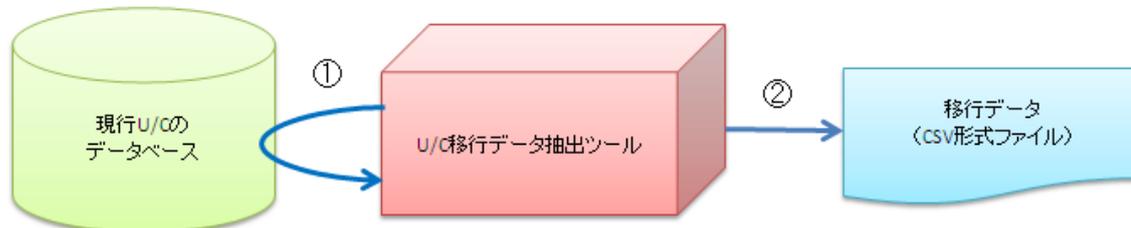


図 2-2 移行データ抽出ツール 流れ図

- ① 現行U/Cのデータベースから、移行データ抽出ツールが登録情報を取得します。
- ② 移行データ抽出ツールが、①で取得した登録情報をCSV形式のファイルに変換し、移行データとして保存します。

## 2.2.新U/Cへデータを登録する流れ

「移行データ登録ツール」は現行U/Cから取得した登録情報を、新U/Cに登録します。起動には「移行データ抽出ツール」で作成した移行データ(CSV形式ファイル)が必要です。ツール起動時に指定された配置先から、移行データを読み込みます。

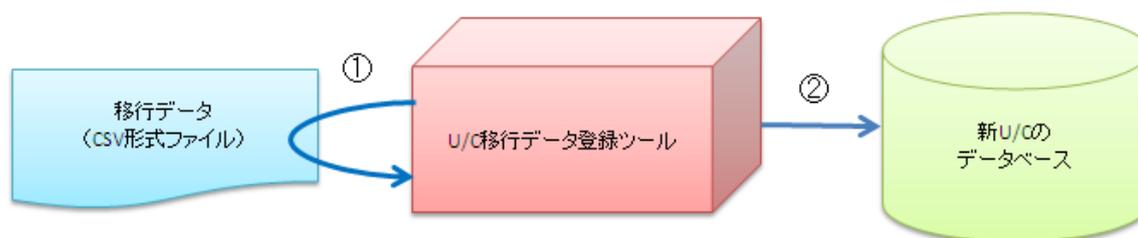


図 2-3 移行データ登録ツール 流れ図

- ① 現行U/Cから取得した移行データ(CSV形式ファイル)を移行データ登録ツールが読み込みます。
- ② 移行データ登録ツールが、①で読み込んだ移行データを新U/Cのデータベースへ登録します。

## 3.移行対象と対象外

---

現行U/Cに登録されているデータの中で、ユーザ情報やパートナー情報などの、利用者が登録を行う情報が移行対象となります。

ここに記述されていない情報は、インストーラで登録が行われます。

### 3.1.移行対象

- ユーザ
- 通信設定
- パートナー
- システムスケジュール(バックアップ)
- ユーザ個別スケジュール(送信/受信/その他)
- ファイル転送設定
- 情報区分
- 祝日
- 休日曜日

### 3.2.移行対象外

- ユーザ  
送信先メールアドレス、送信先メールの種類(正常/異常)
- メールサーバ  
送信メールサーバ、電子メールアドレス
- ユーザ個別スケジュール  
当日初期処理、データベース最適化、リポートのスケジュール
- 祝日  
国民の祝日として定められている祝日  
・元旦、成人の日、建国記念日、春分の日、昭和の日、憲法記念日、みどりの日、こどもの日、海の日、山の日、敬老の日、秋分の日、体育の日、文化の日、勤労感謝の日、天皇誕生日  
※上記の祝日は、新U/Cサーバの初期マスタとして登録されるため、移行対象外となります。  
  
現行UCにおいて以下の名称で登録されている祝日  
・振替休日、国民の休日  
※上記の祝日は、新U/Cサーバにて毎年自動的に計算し登録されるため、移行対象外となります。
- 休日  
祝日と休日曜日以外で、休日と設定した日付  
(現行U/Cタスクマネージャの休日設定画面のカレンダー設定より、休日設定した日付を意味しております。)
- 業務区分・情報区分  
現行U/Cの情報区分登録画面から新規に登録された業務区分と情報区分

## 4.前提条件

---

U/C移行ツールを使用する前に、あらかじめ用意して頂く事項を記述します。

以下の内容は、各ツールを実行時に必要な情報となりますので、実行前に準備して頂くようお願いします。

### 4.1.移行データ抽出ツール

- 移行データの配置先  
移行データ抽出ツールが作成するCSV形式ファイルの出力先フォルダを作成して下さい。

### 4.2.移行データ登録ツール

- 新U/Cで使用するデータベースの接続先情報  
新U/Cのインストーラ内でインストールして頂いた、PostgreSQLの接続先情報を用意して下さい。  
ツール実行時にホスト名、ポート番号、データベース名、ユーザ名、パスワードが必要になります。
- 移行データの配置先  
移行データ抽出ツールで作成した移行データを、新U/Cサーバ上の任意の場所に配置して下さい。
- 新U/Cのインストール先フォルダ  
新U/Cのインストール先フォルダにアクセス可能なユーザでログオンして下さい。  
データの登録と同時に、新U/Cのインストール先フォルダに、ユーザフォルダを作成します。

## 5.操作説明

### 5.1.移行データ抽出ツール

現行U/Cのデータベースから移行データの抽出を行う「移行データ抽出ツール」の操作手順を記述します。

#### 5.1.1.ツールの準備

「移行データ抽出ツール.zip」を解凍して下さい。

ツールの配置先に指定はありませんので、任意の場所に解凍して下さい。

解凍したフォルダ内に移行データ抽出ツールが含まれています。

#### 5.1.2.起動方法

「5.1.1」で解凍したフォルダ内の「移行データ抽出ツール.bat」から起動します。

バッチファイルを実行して下さい。

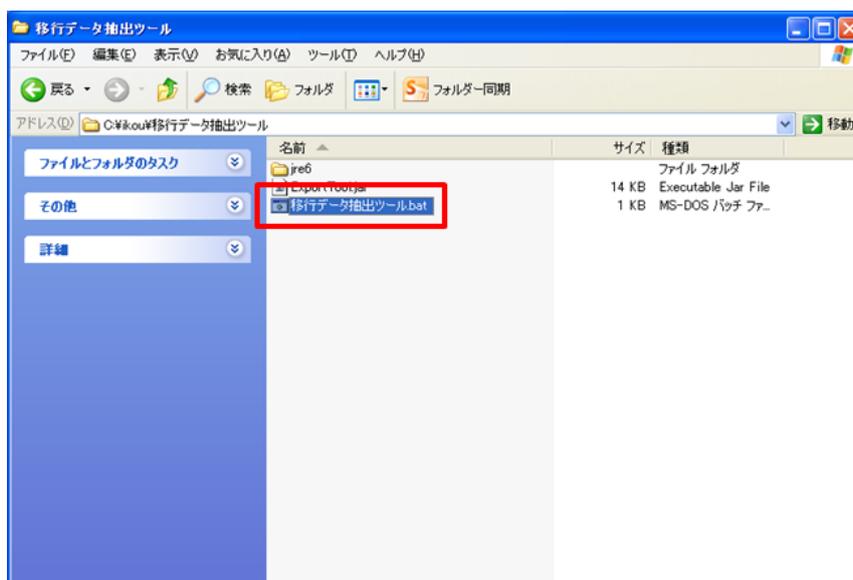


図 5-1 移行データ抽出ツール 起動

### 5.1.3.操作方法

移行データ抽出ツールを起動すると、「図 5-2 移行データ抽出ツール 初期表示」のような画面が立ち上がります。現行U/Cから取得した移行データをどのフォルダに保存するか、入力を待っている状態です。

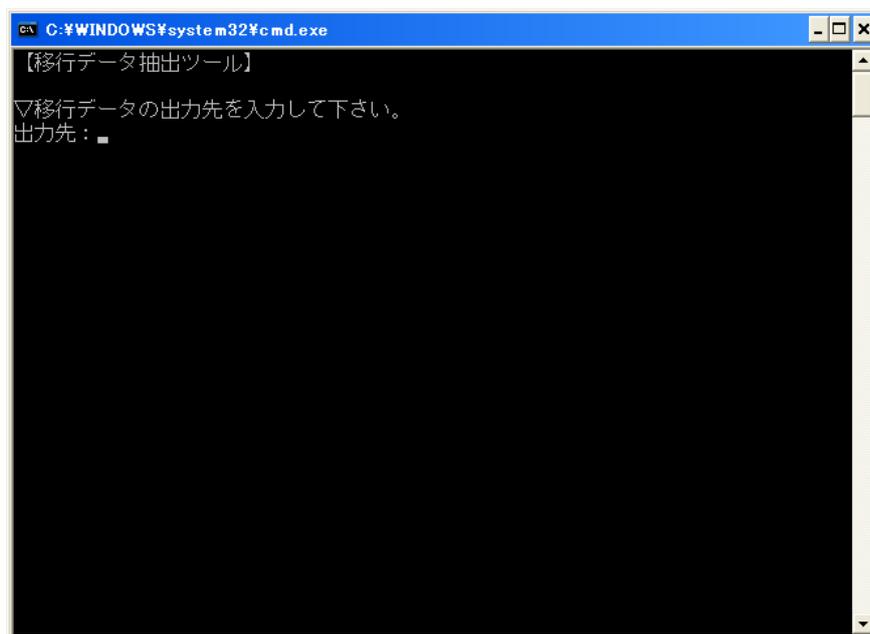


図 5-2 移行データ抽出ツール 初期表示

[出力先] に移行データを保存するフォルダの場所を入力して下さい。  
入力が終わりましたら、エンターキーを押下して下さい。  
抽出処理を起動します。

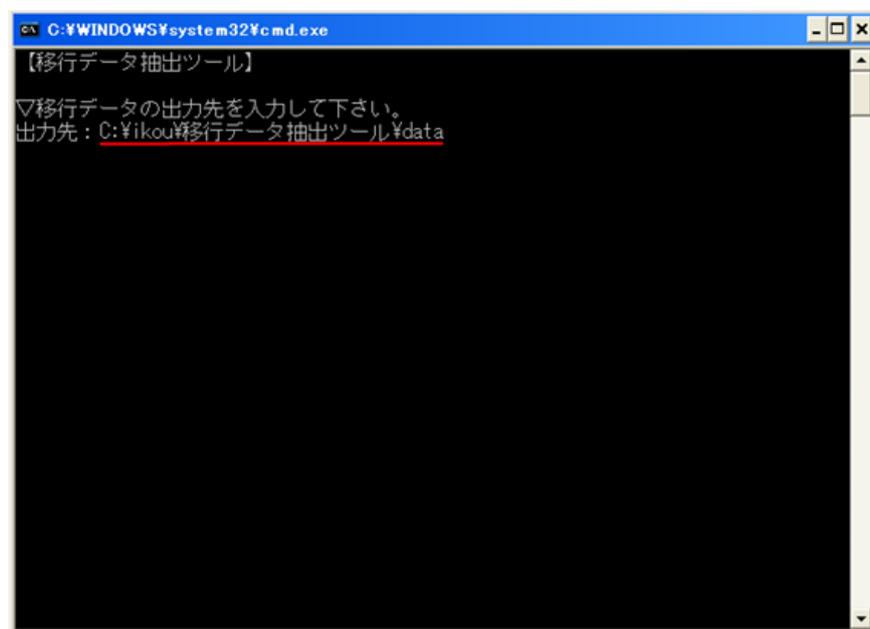
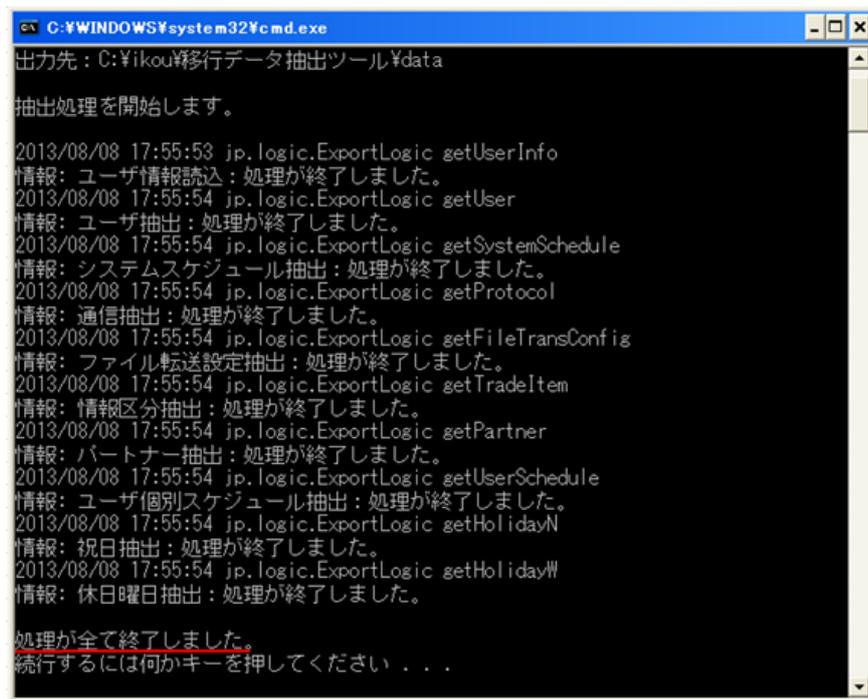


図 5-3 移行データ抽出ツール 入力例

- ※ 「図 5-3 移行データ抽出ツール 入力例」の [出力先] への入力値は使用例となります。使用される際には、実際に移行データを保存したいフォルダの場所を入力して下さい。
- ※ 起動を中止したい場合は、[出力先] の入力を行わずに画面を閉じて下さい。

抽出ツールが起動すると、「図 5-4 移行データ抽出ツール 処理終了」のような抽出処理のログメッセージが表示されます。

終了メッセージ(赤線部分)が表示されるまで、しばらくお待ち下さい。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
出力先: C:\ikou\移行データ抽出ツール\data
抽出処理を開始します。

2013/08/08 17:55:53 jp.logic.ExportLogic getUserInfo
情報: ユーザ情報読込: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getUser
情報: ユーザ抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getSystemSchedule
情報: システムスケジュール抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getProtocol
情報: 通信抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getFileTransConfig
情報: ファイル転送設定抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getTradeItem
情報: 情報区分抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getPartner
情報: パートナー抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getUserSchedule
情報: ユーザ個別スケジュール抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getHolidayN
情報: 祝日抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getHolidayW
情報: 休日曜日抽出: 処理が終了しました。

処理が全て終了しました。
続行するには何かキーを押してください...
```

図 5-4 移行データ抽出ツール 処理終了

処理終了のメッセージを確認したら、任意のキーを押下して下さい。ツールの画面が閉じます。

その後、ご指定のフォルダに移行データが配置されています。「図 5-5 移行データ抽出ツール 移行データ確認」のように9個のCSV形式ファイルが、すべて揃っていることを確認して下さい。

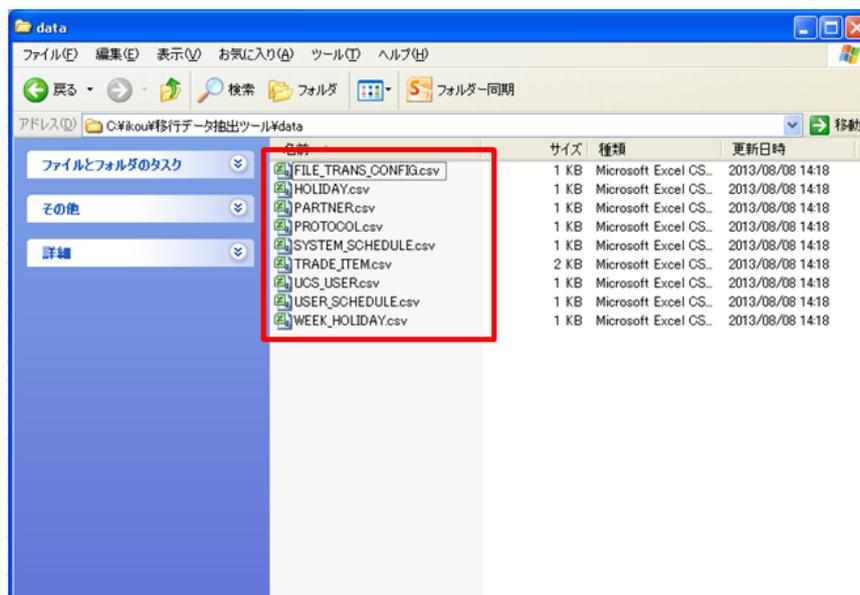


図 5-5 移行データ抽出ツール 移行データ確認

表 5-1 移行データ抽出ツール 移行データ一覧

ファイル名	詳細
FILE_TRANS_CONFIG.csv	ファイル転送設定の移行データ
HOLIDAY.csv	祝日の移行データ
PARTNER.csv	パートナーの移行データ
PROTOCOL.csv	通信の移行データ
SYSTEM_SCHEDULE.csv	システムスケジュールの移行データ
TRADE_ITEM.csv	情報区分の移行データ
UCS_USER.csv	ユーザの移行データ
USER_SCHEDULE.csv	ユーザスケジュールの移行データ
WEEK_HOLIDAY.csv	休日曜日の移行データ

このファイルは「移行データ登録ツール」で使用するため、内容を編集せずに保管して頂くようお願いします。

## 5.2. 移行データ登録ツール

移行データを新U/Cのデータベースに登録を行う「移行データ登録ツール」の操作手順を記述します。

### 5.2.1. ツールの準備

「移行データ登録ツール.zip」を解凍して下さい。

ツールの配置先に指定はありませんので、任意の場所に解凍して下さい。

解凍したフォルダ内に移行データ登録ツールが含まれています。

また、移行データ抽出ツールで作成した移行データ(CSV形式ファイル)を用意して下さい。

配置先は移行データ登録ツールと同じ端末であれば、どのフォルダに配置しても問題ありません。

### 5.2.2. 起動方法

「5.2.1ツールの準備」で解凍したフォルダ内の「移行データ登録ツール.bat」から起動します。

バッチファイルを実行して下さい。

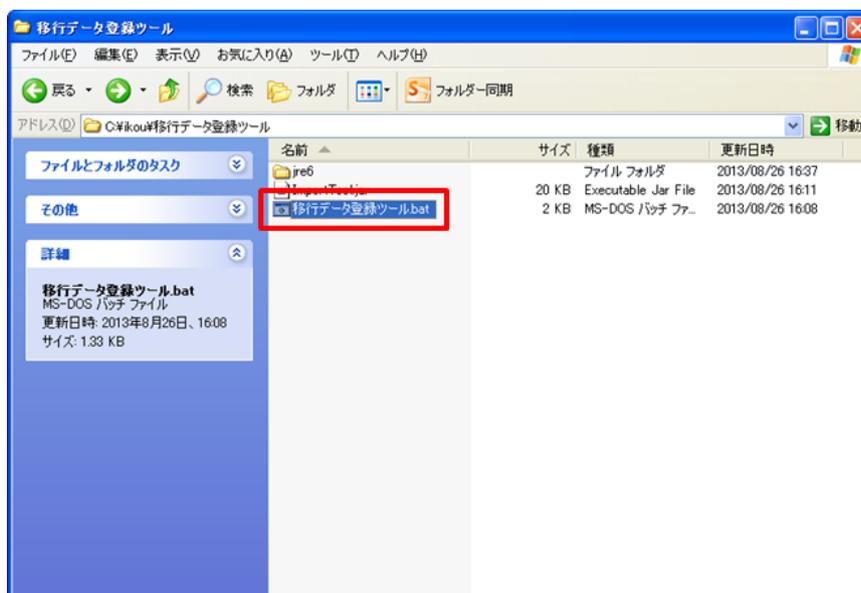


図 5-6 移行データ登録ツール 起動

## 5.2.3. 操作内容

移行データ登録ツールを起動すると、「図 5-7 移行データ登録ツール 初期表示」のような画面が立ち上がります。新U/Cのデータベース情報の入力を待っている状態です。

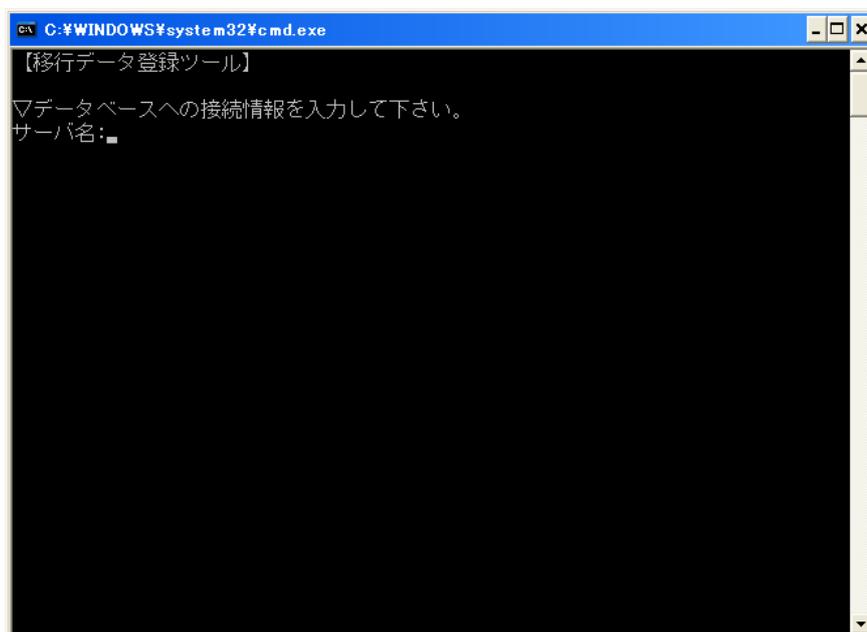


図 5-7 移行データ登録ツール 初期表示

各項目に該当する内容を入力して下さい。

移行データ登録ツールでは、「表 5-2 移行データ登録ツール 入力項目一覧」の項目の入力が必要になります。

表 5-2 移行データ登録ツール 入力項目一覧

項目名	入力内容
サーバ名	新U/Cで使用するデータベースのサーバ名
ポート番号	新U/Cで使用するデータベースのポート番号
データベース名	新U/Cで使用するデータベースの名称("ucsd"固定)
ユーザ名	新U/Cのインストール時に登録したPostgreSQLのユーザ名("postgres"固定)
パスワード	新U/Cのインストール時に登録したPostgreSQLのパスワード
配置先	移行データ抽出ツールで作成した移行データの配置先フォルダ
インストール先	新U/Cのインストール先フォルダ(…\Adedi)

※ ひとつの項目に値を入力し、エンターキーで確定すると、次の項目が表示されます。

インストール先まで指定が終わりましたら、登録処理が開始されます。

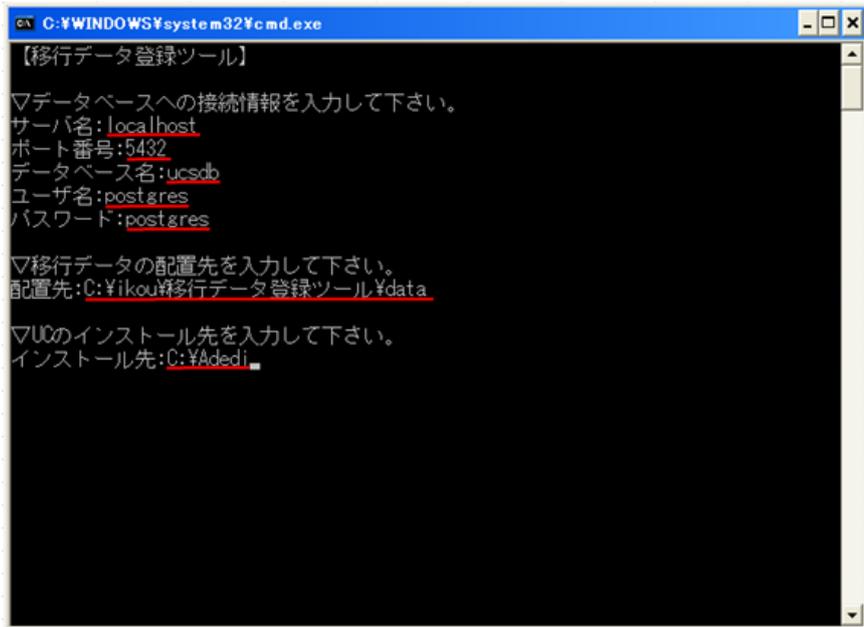


図 5-8 移行データ登録ツール 入力例

- ※ 「図 5-8 移行データ登録ツール 入力例」の入力値は全て使用例となります。使用される際には、実際に設定されているデータベース情報、移行データの配置先、新U/Cのインストール先を入力して下さい。
- ※ 起動を中止したい場合は、入力を行わずに画面を閉じて下さい。

登録ツールが起動すると、「図 5-9 移行データ登録ツール 処理終了」のような登録処理のログメッセージが表示されます。

終了メッセージ(赤線部分)が表示されるまでしばらくお待ち下さい。

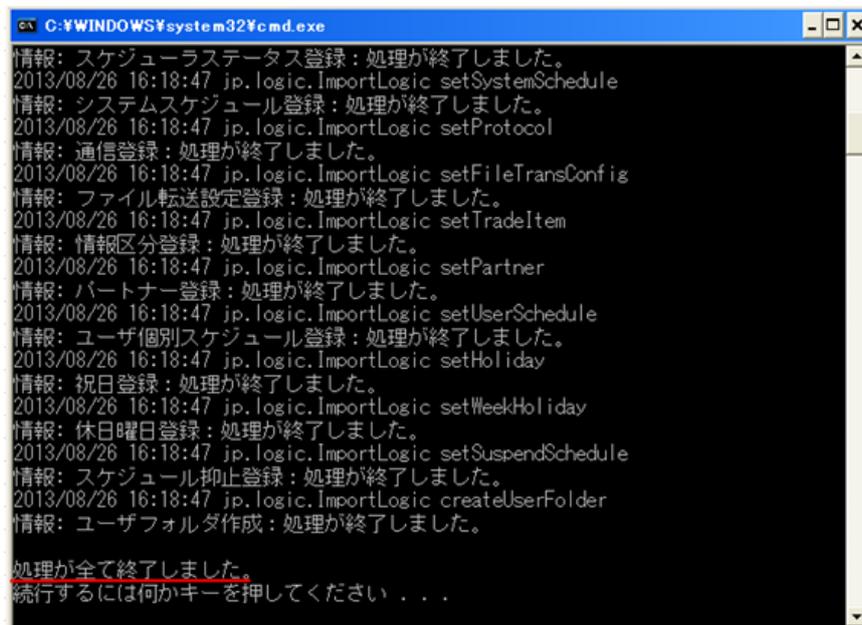


図 5-9 移行データ登録ツール 処理終了

処理終了のメッセージを確認したら、任意のキーを押下して下さい。ツールの画面が閉じます。

以上で移行完了になります。

## 6.補足事項

### 6.1.ツール実行後の確認事項

移行データの中にファイルの場所を含むデータは、移行前後でファイルの配置先に変更がないか確認して下さい。各項目の詳しい設定方法は、別紙の「UCサーバオペレーションマニュアル.pdf」をご参照下さい。

以下のデータは変更が必要になる可能性があります。

- ユーザ個別スケジュール
  - ・送信スケジュールの取引データ伝送プログラムと業務通知プログラム
  - ・受信スケジュールの取引データ伝送プログラムと業務通知プログラム
  - ・指定プログラム実行の実行プログラム

※ TaskManagerのスケジュール設定画面で確認・設定が行えます。

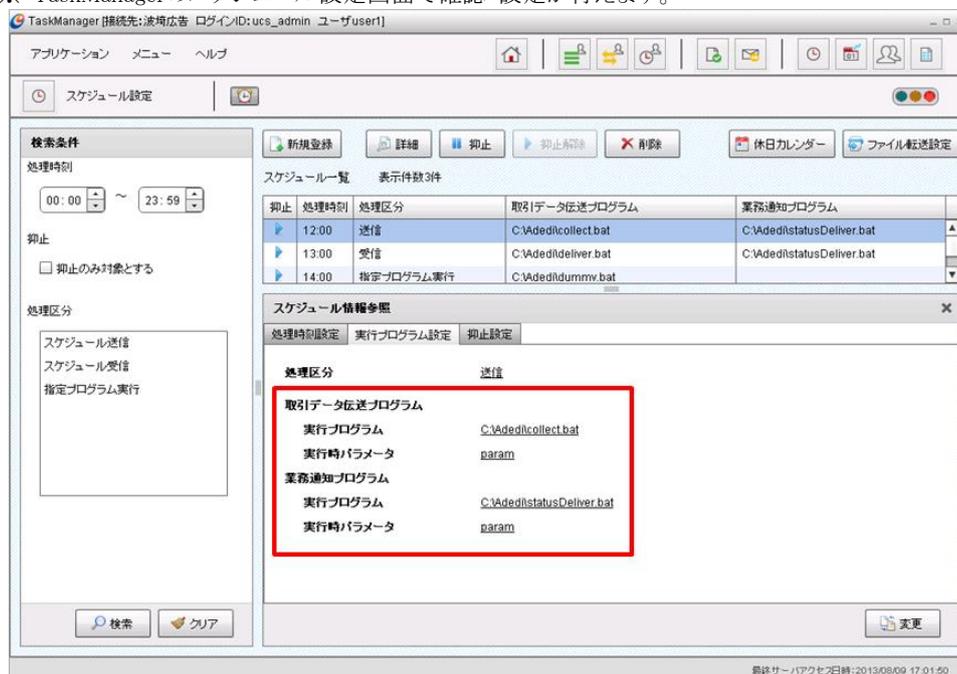


図 6-1 新 U/C 送信スケジュールの確認

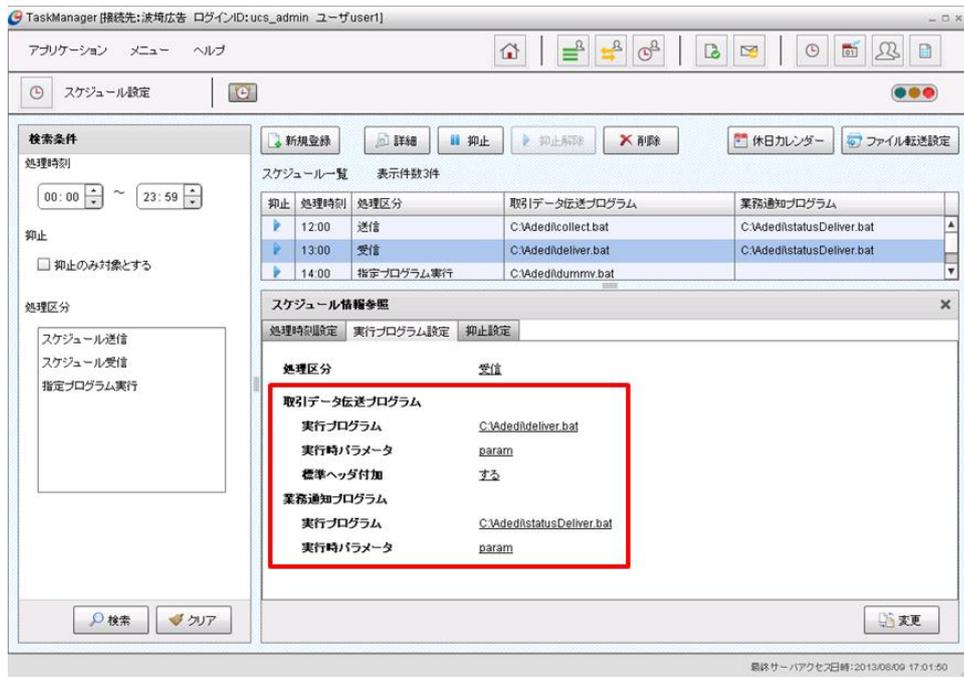


図 6-2 新 U/C 受信スケジュールの確認

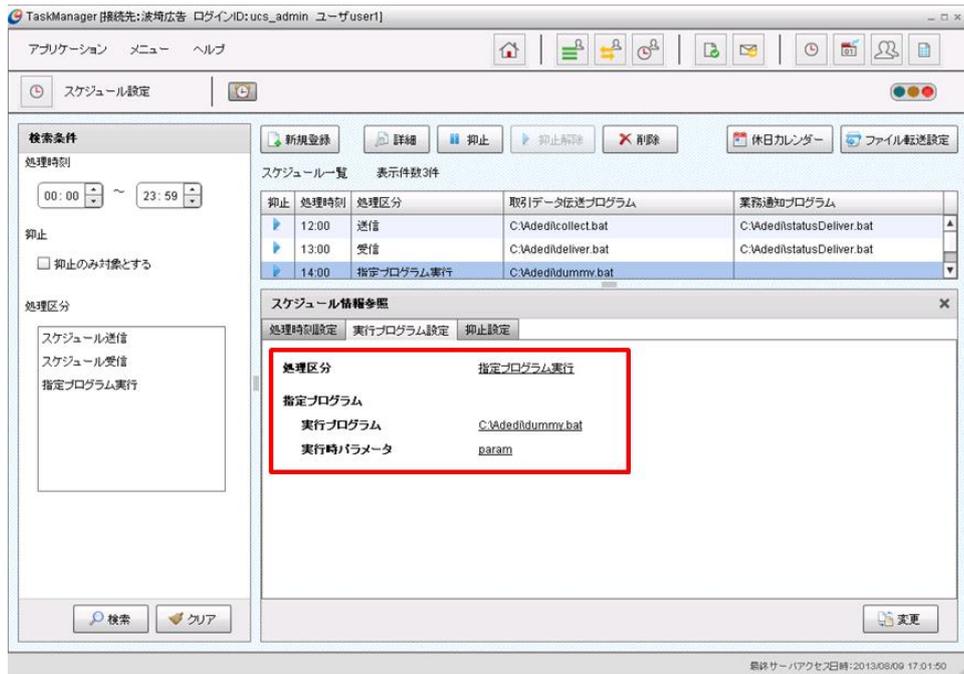


図 6-3 新 U/C 指定プログラムの確認

- ファイル転送設定
  - ・取引データ集信プログラムのリターンコードファイル
  - ・取引データ配信プログラムのリターンコードファイル
  - ・ステータス配信プログラムのリターンコードファイル

※ TaskManagerのスケジュール設定画面(ファイル転送設定)で確認・設定が行えます。

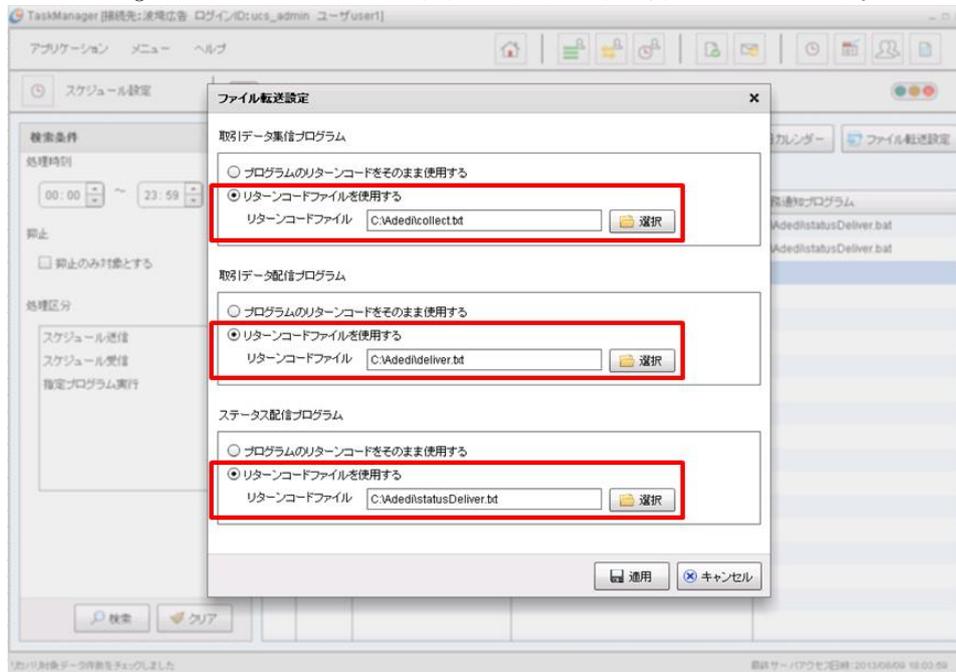


図 6-4 新 U/C 各種リターンコードファイルの確認

- システムスケジュール
  - ・バックアップスケジュールのバックアップ先フォルダ

※ SystemManagerのシステムスケジュール設定画面で確認・設定が行えます。

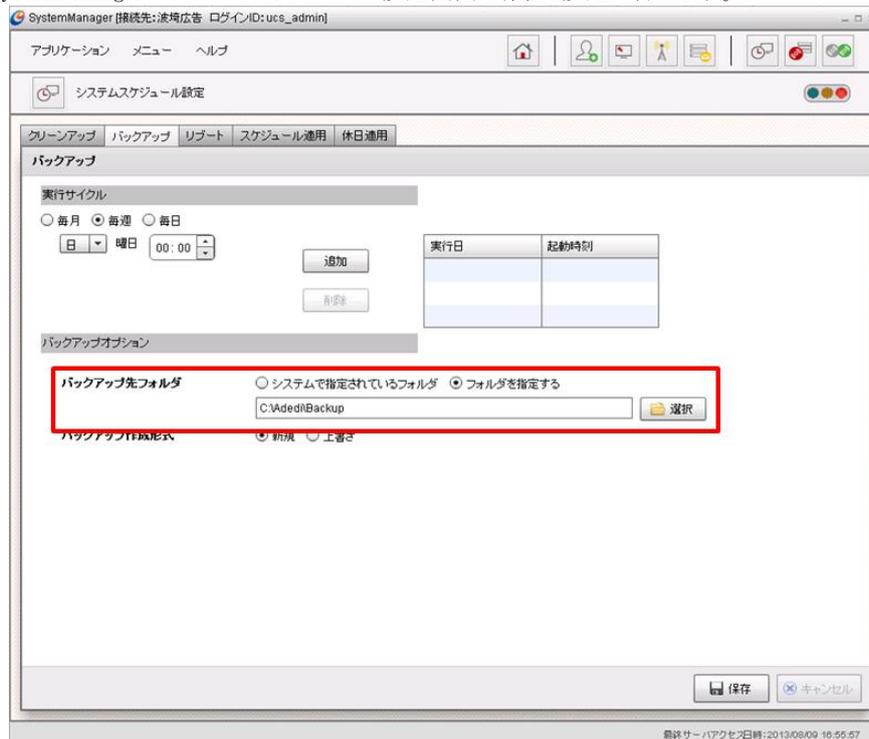


図 6-5 新 U/C バックアップ先フォルダの確認

## 6.2. スケジュールの起動

現行U/Cから移行したスケジュール情報は、システム保守を行うシステムスケジュールと、ユーザ別に送受信処理を行うユーザスケジュールに登録されます。

新U/Cのインストール時は、どちらのスケジュールも停止状態に設定されているので、移行したスケジュール情報を起動するためには、各スケジュールを起動状態に変更する必要があります。

### 6.2.1. システムスケジュール

移行対象からは、以下のスケジュールがシステムスケジュールに該当します。

- バックアップ

システムスケジュールはシステムマネージャから起動・停止できます。



図 6-6 システムマネージャ メインメニュー画面

#### 6.2.1.1. システムスケジュールを起動するには

- 1) システムスケジュールの現在の状態(起動・停止)がシステムマネージャの画面右上のスケジュール信号アイコンで表示されています。  
システムスケジュールが停止している場合は  となっています。
- 2)  アイコンをクリックするかまたは、ツールバーの「メニュー」から「スケジュール」>「スケジュール起動」を選択すると、アイコンの状態が  となりシステムスケジュールが起動された状態になります。

## 6.2.1.2.システムスケジュールを停止するには

- 3) システムスケジュールの現在の状態(起動・停止)がシステムマネージャの画面右上のスケジュール信号アイコンで表示されています。  
システムスケジュールが起動されている場合は  となっています。
- 4)  アイコンをクリックするか、またはツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ停止」を選択すると、アイコンの状態が  となりシステムスケジュールが停止された状態になります。

## 6.2.2.ユーザスケジュール

移行対象からは、以下のスケジュールがユーザスケジュールに該当します。

- スケジュール送信
- スケジュール受信
- 指定プログラム実行(現行U/Cでは「その他」)

ユーザスケジュールは各ユーザのタスクマネージャから起動・停止できます。

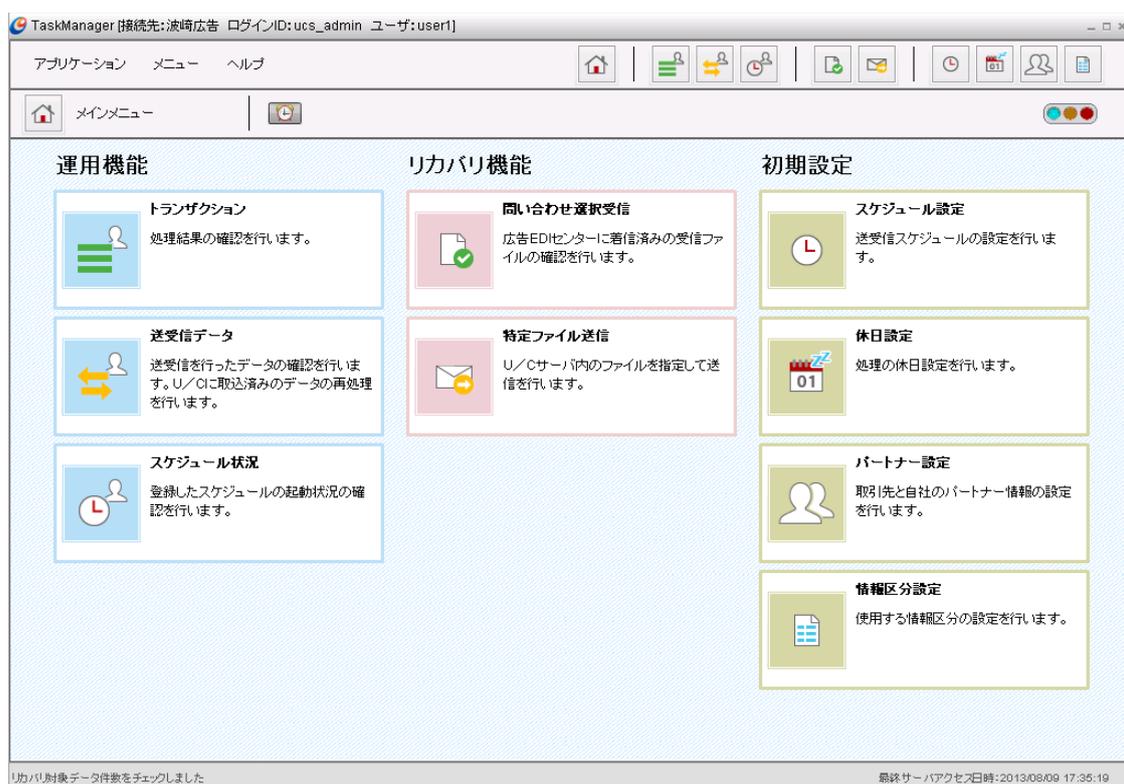


図 6-7 タスクマネージャ メインメニュー画面

### 6.2.2.1. ユーザスケジュールを起動するには

- 1) ユーザスケジュールの現在の状態(起動・停止)がタスクマネージャの画面右上のスケジュール信号アイコンで表示されています。  
ユーザスケジュールが停止している場合は  となっています。
- 2)  アイコンをクリックするか、またはツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ起動」を選択すると、アイコンの状態が  となりユーザスケジュールが開始された状態になります。

### 6.2.2.2. ユーザスケジュールを停止するには

- 3) ユーザスケジュールの現在の状態が画面右上のアイコンで表示されています。  
ユーザスケジュールが起動されている場合は  となっています。
- 4)  アイコンをクリックするか、またはツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ停止」を選択すると、アイコンの状態が  となりユーザスケジュールが停止された状態になります。

## 6.3. ユーザフォルダについて

移行データ登録ツールでは、現行U/Cのデータを新U/Cに移行する他に、移行した各ユーザのユーザフォルダを、新U/Cのインストール先フォルダ内に作成します。

ユーザフォルダの作成は、アクセス権限などが原因で失敗してしまう可能性があります。その場合、該当フォルダを手動にて作成して頂く必要があります。

「表 6-1 ユーザフォルダ一覧」が全ユーザフォルダの構成になります。実際に、表の通りにフォルダが作成されていることを確認して下さい。

表 6-1 ユーザフォルダ一覧

フォルダ名	フォルダの場所
集信フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Collect」
配信フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Deliver」
エラー集信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥ErrorData¥Collect」
エラー受信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥ErrorData¥JXRecv」
問い合わせファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Query」
受信フォルダ(業務データ)	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Receive¥Data」
受信フォルダ(問い合わせ)	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Receive¥Query」
受信フォルダ(メール)	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Receive¥Stm」
分割後フラットファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥Collect」
配信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥Deliver」
リクエスト・レスポンスメッセージ保存フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥Http」
受信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥JXRecv」
マージファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥JXSend」
受信フラットファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥Receive」
送信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Save¥Send」
送信フォルダ(業務データ)	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Send¥Data」
送信フォルダ(問い合わせ)	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Send¥Query」
ワークフォルダ	「%UCS_HOME%¥[ユーザID]¥Tmp」

※ %UCS\_HOME% は新U/Cのインストール先フォルダです。

※ [ユーザID] は現行U/Cから移行したユーザのユーザIDです。ユーザフォルダを作成する必要があるユーザIDはシステムマネージャのユーザ設定画面(「図 6-8 ユーザ設定画面 ユーザID」の赤線部分)で確認できます。

